

花川病院 施設管理 長尾 将史

功 績 今年の夏は北海道も例年にない猛暑となりました。昨年はデマンド器の警告音が鳴ると院内の不必要と思えるエアコンのスイッチ切り、やむを得ない場合は設定使用量をアップしながら対応していました。今期は、オアシス事務室や会議室、病院女子更衣室、旧保育所の毎日使用、温冷配膳車増車等で電気使用量が大幅アップした中、知恵と工夫で警告音をならさずに院内快適気温を保たせた功績。

推 薦 者 事務部長 村中 めぐみ

推 薦 理 由 昨年より電気使用料を上げるエアコン増設、温冷配膳車増車などあり、その上、今年の猛暑、朝より30度を超え昼は35度以上の日が約1ヶ月雨も降らず続き、大幅に電気基本料と使用料アップの所、電気基本料が維持できた知恵と工夫は理事長賞に値すると思いますので推薦します。

内 容

デマンド器は、電気の基本料を上げないために瞬間電気使用量の警戒使用料を設定しておき、その使用量に近づいたら警告音となり、30分以内に院内・オアシス内の不必要な電気使用器具をストップし上限電気使用量を一瞬でも超えないようにします。もし一瞬でも超えれば電気基本料が翌月より上がり、1年間の電気料金に響きます。そのため、昨年、事務室のエアコンは稼働できない日々が続き、常勤医からドクター指示としてエアコン稼働の指示がでたくらいでした。

昨年の経験から、施設管理の長尾は、電気使用量はアップしても1～2ヵ月の使用料増分を支払うのみ。さらに新電力への切替で電気料金が昨年より削減できていることと、電気基本料は変わらないことに着目をし、夜勤帯から主要部署の部屋を常に26度にしておき、栄養科の温冷配膳車のスイッチを入れる時間を考慮して電気使用量が集中しないようにした。そのため外気温が上昇してきても一斉にエアコンが稼働しないのでデマンド器の警告音が鳴らず事務室も今年は快適に業務ができました。また、各階の会議室やリハ訓練室、食堂、記録室等も夜間エアコンを切らないよう職員へ声掛けや掲示をし徹底させました。その結果、電気代8月単月は約10万円ほど電気使用量は上がりましたが、基本料は契約変更により削減になっているので、今後は予算通りで推移する見込みです。